

(19) 世界知的所有権機関  
国際事務局



(43) 国際公開日  
2003年12月31日 (31.12.2003)

PCT

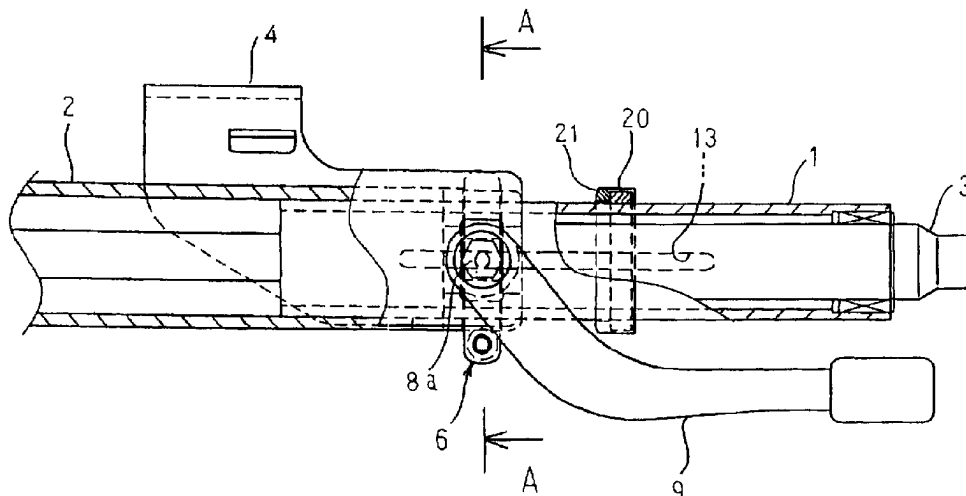
(10) 国際公開番号  
**WO 2004/000626 A1**

- (51) 国際特許分類: **B62D 1/19**, B60R 21/05 (74) 代理人: 井上 義雄 (INOUE, Yoshio); 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目1番4号画廊ビル3階 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/003093
- (22) 国際出願日: 2003年3月14日 (14.03.2003) (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:  
特願2002-179126 2002年6月19日 (19.06.2002) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 日本精工株式会社 (NSK LTD.) [JP/JP]; 〒141-8560 東京都品川区大崎1丁目6番3号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および  
(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) **東野 清明** HI-GASHINO, Kiyoharu [JP/JP]; 〒371-0853 群馬県前橋市総社町1丁目8番1号 日本精工株式会社内 Gunma (JP).
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).
- 添付公開書類:  
— 国際調査報告書

[続葉有]

(54) Title: VEHICLE IMPACT ABSORPTION TYPE STEERING COLUMN DEVICE

(54) 発明の名称: 車両用衝撃吸収式ステアリングコラム装置



(57) Abstract: A vehicle impact absorption type steering column device adapted to move the steering column forwardly of the vehicle with respect to a vehicle-body-side member upon secondary collision has a metal ring fitted on the outer peripheral surface of the steering column, which metal ring is adapted to lock the vehicle-body-side member upon secondary collision and absorb the impact energy while friction-sliding with respect to the steering column moving forwardly of the vehicle.

(57) 要約: 車体側部材に対して、二次衝突時に当該ステアリングコラムを車両前方に移動させる車両用衝撃吸収式ステアリングコラム装置は、ステアリングコラムの外周面に、二次衝突時に車体側部材に係止して、車両前方に移動する前記ステアリングコラムに対して摩擦摺動しながら衝撃エネルギーを吸収する金属製リングを嵌合している。

WO 2004/000626 A1

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-17908

(P2004-17908A)

(43) 公開日 平成16年1月22日(2004.1.22)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

B62D 1/19

B62D 1/18

F1

B62D 1/19

B62D 1/18

テーマコード(参考)

3D030

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号 特願2002-179126 (P2002-179126)

(22) 出願日 平成14年6月19日(2002.6.19)

(71) 出願人 000004204

日本精工株式会社

東京都品川区大崎1丁目6番3号

(74) 代理人 100077919

弁理士 井上 義雄

(72) 発明者 東野 清明

群馬県前橋市総社町一丁目8番1号 日本

精工株式会社内

Fターム(参考) 3D030 DC22 DD25 DD79 DE22

(54) 【発明の名称】 車両用衝撃吸収式ステアリングコラム装置

(57) 【要約】

【課題】二次衝突時のコラプス荷重の設定や調整を極めて簡易に行うこと。

【解決手段】インナーコラム1の外周面に、鉄等の金属製リング20が合してある。金属製リング20のアウトターコラム2側に、ゴム又は合成樹脂製のダンパー21が設けてある。金属製リング20は、テレスコピックを最短状態に調整した際、アウトターコラム2に当接してテレスコピック摺動を規制するストッパーとして作用し、ダンパー21は、その打音を防止する。また、二次衝突が発生し、インナーコラム1が車両前方に移動すると、金属製リング20がアウトターコラム2の後端部に衝突する。その後、金属製リング20は、アウトターコラム2の後端部に係止しながら、車両前方に移動するインナーコラム1の外周面に対して摩擦摺動し、コラプス荷重を発生して、衝撃エネルギーを吸収する。

【選択図】 図1

